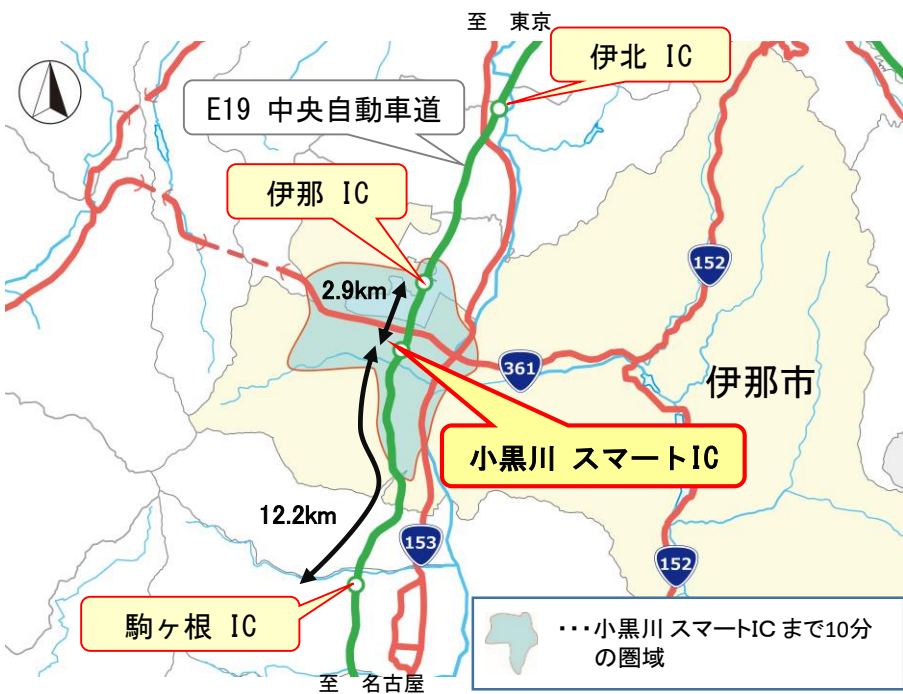


概要



小黒川スマートIC

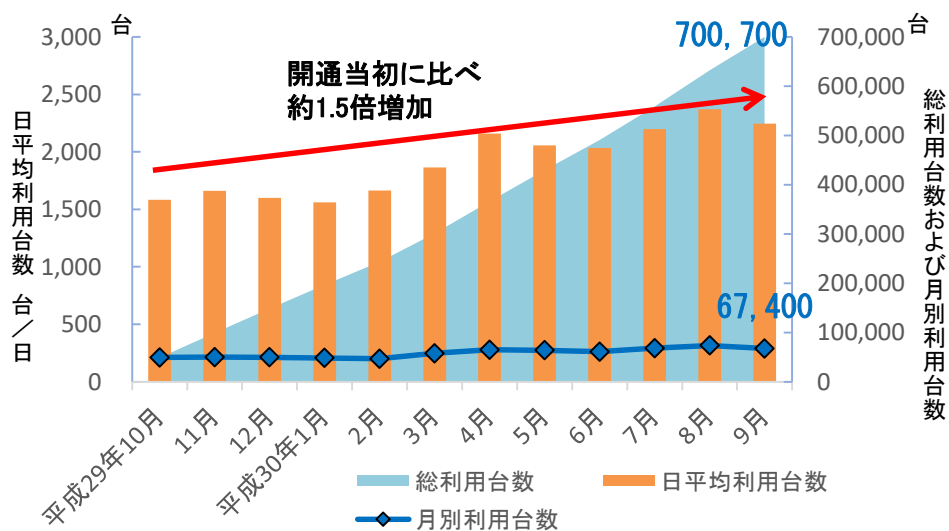
小黒川スマートインターチェンジ

■小黒川スマートIC利用実績

平成29年9月30日～平成30年9月30日

- 実績交通量：総利用台数 約700,700台 日平均利用台数 約1,900台
⇒日平均利用台数は、計画交通量を上回る利用
- 平成30年9月の日平均利用台数は約2,200台で開通当初の約1.5倍増加

■小黒川スマートIC総利用台数、日平均利用台数、月別利用台数(台)



※総利用台数には平成29年9月30日(供用開始日)の約900台を含む

■運用形態

- 出入り方向：全方向
- 利用時間：24時間利用可能
- 対応車種：ETC車載器搭載の全車両(車長12m以下)
- 供用開始：平成29年9月30日(土曜日)15時

整備効果

1. 広域防災拠点へのアクセス性向上に拠る緊急活動への支援

- 大規模災害時に緊急輸送路とされるE19中央自動車道とのアクセスポイントが増え**迅速な救助や支援が可能**になった
- 高速道路から広域防災拠点（防災コミュニティセンター）への**アクセス時間が短縮**した（10分→5分 **5分の短縮**※）
- 高速道路上での救急活動等では、小黒川スマートIC整備により**消防署の管轄範囲が変更**され、迅速な対応が可能となった（上り線小黒川スマートICより北は伊那消防署で対応）

※実測による

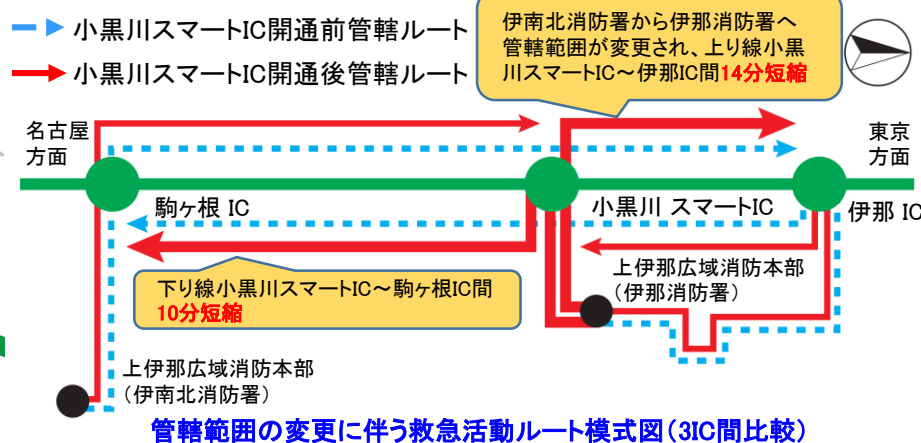


防災コミュニティセンター

大規模災害などが発生したときに、災害対策活動の拠点とするために整備したものの。伊那市西部の防災拠点として、情報通信施設・設備、電気、水道施設等の防災機能を充実させた施設。平成30年4月7日開館。

広域防災拠点へのルート図

下り線では中央自動車道から広域防災拠点へのアクセス時間が**5分短縮**された



上り線小黒川スマートIC～伊那IC間の高速道路への現地到着が**14分短縮**された

伊那消防署の声（ヒアリングより）

- ・ 高速道路上の管轄範囲が変わったことで**迅速な救急活動等が行える**ようになった
- ・ 平成30年6月に下り線で起きた車両火災についても小黒川スマートIC利用により現地到着が早く、迅速な対応ができた。
- ・ 指揮隊の現地到着時間が短縮されたことにより、現場状況の把握等が早くなり**職員の安全管理も向上**した
- ・ 受援活動の利用にも期待できる

整備効果

2. 企業誘致の促進・雇用創出

- 工業団地から高速道路への**アクセス性が向上**している
- 小黒川スマートICの事業化後、5社の企業が伊那市に立地を決定し新たな雇用が創出される
- 小黒川スマートICに最も近い小黒原産業適地は、平成35年度造成完了予定で、**更なる企業進出**が見込まれる

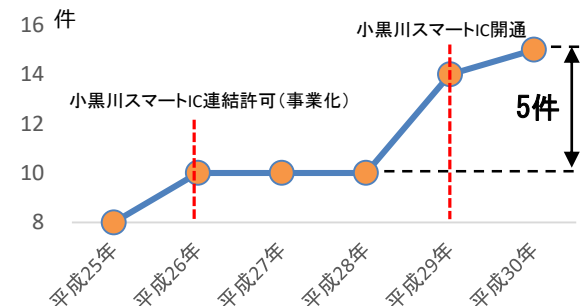


■小黒川スマートIC事業化後の企業の立地決定数

工業団地等	立地予定数
鳥居沢工業団地	2
東原工業団地	1
上ノ原工業団地	2
合計	5

伊那市資料による(H29~)

■小黒川スマートIC事業化後の企業の立地決定数の推移(伊那市工業団地)



4つの工業団地等が小黒川スマートICから半径5km圏内に立地

利用企業の声 (ヒアリングより)

- **ドライバーの拘束時間が短縮され、負担軽減**につながっている(運輸業)
- **アクセス性が良く、県外倉庫への運搬に有効。今後も利用予定**(製造業)

整備効果

3. 高速道路へのアクセス性の向上 (高速道路からの観光交通の分散・時間短縮)

- 観光交通におけるICの**分散利用**が図られている(観桜期、ゴールデンウィーク等)
- 主要観光地への**到着時間が短縮**した(例: **高遠城址公園7分短縮**※1)
- 市道環状南線※2の整備で伊那市東部へのアクセスが向上し、**さらなる利用促進が期待**される

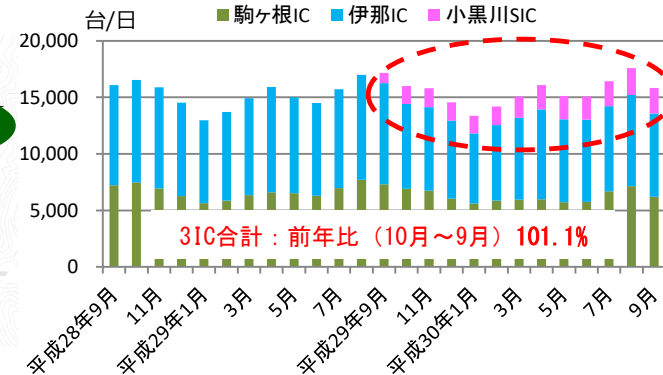
※1 実測による ※2 H32年度供用開始予定

■小黒川スマートIC利用台数上位日と時期

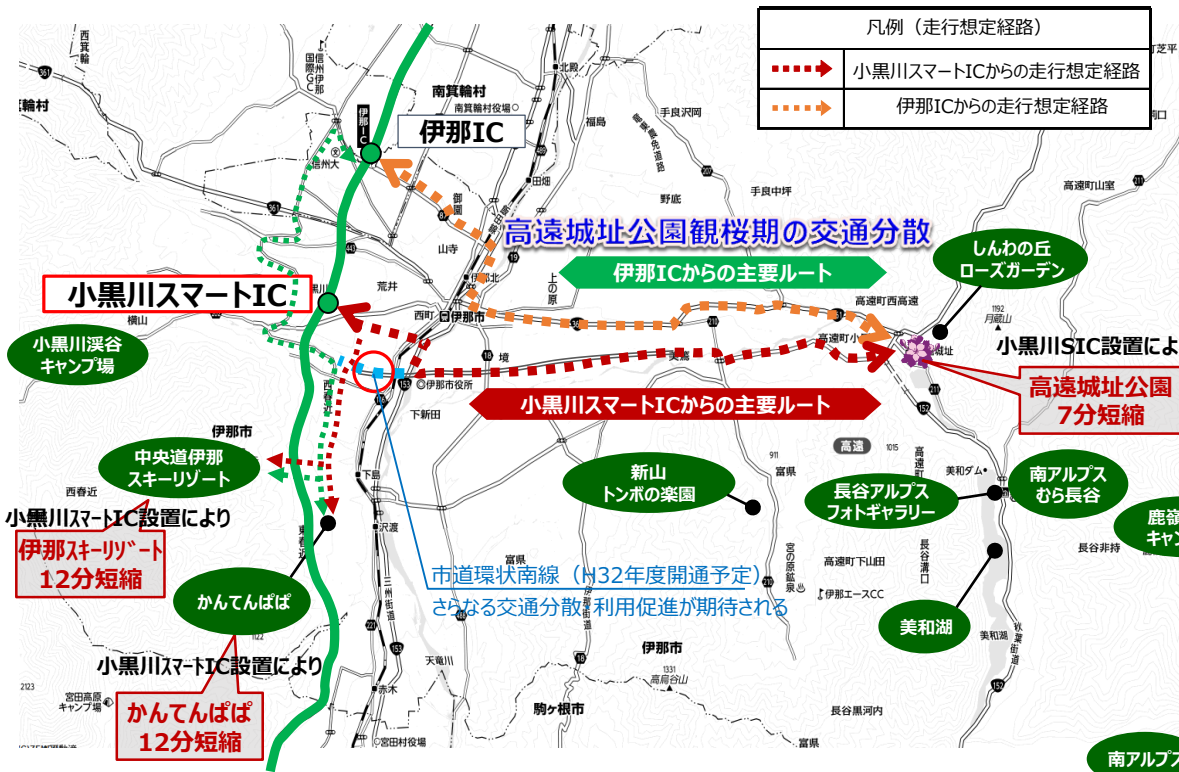
順位	月日(平成30年)	利用台数	理由
1	4月8日(日)	3,100	観桜期(見頃から3日目)
2	8月10日(金)	3,000	夏の行楽シーズン
3	4月7日(土)	2,900	観桜期(見頃から2日目)
4	8月9日(木)	2,800	夏の行楽シーズン
5	4月10日(火)	2,700	観桜期(散り始め)

観光で多く利用されていることがわかる(日平均1,900台)

■3IC利用台数



■小黒川スマートICから主要観光地への短縮時間(実測による)



伊那・駒ヶ根ICから、小黒川スマートICへの分散利用が図られ、時間短縮に寄与している

整備効果

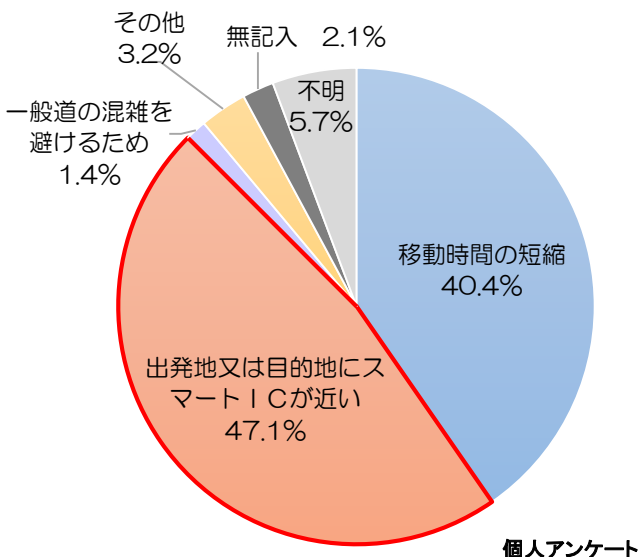
4.その他（利便性・快適性の向上）

アンケート調査結果から

- お客さまの4割以上が利用理由を「**出発地・目的地が近い**」と回答している（個人アンケート）
- お客さまの6割以上が「**移動時間が10分以上短縮**」と回答している（個人アンケート）
- 3割を超える企業が利用理由を「**移動時間の短縮**」と回答している（企業アンケート）

個人アンケート:実施期間 平成30年4月26日(木) 対象者 小黒川スマートIC利用者 800名(回答280名)
企業アンケート:実施期間 平成30年5月7日(月)～5月18日(金) 対象者 市内企業200社(回答99社)

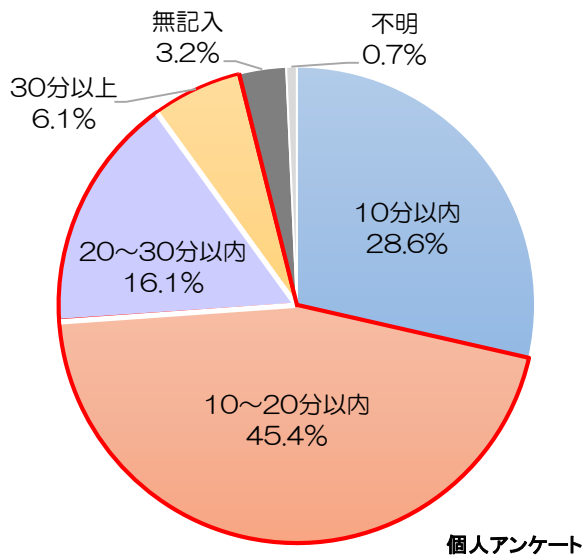
Q:小黒川スマートICの主な利用理由は？



個人アンケート

47.1%が「出発地又は目的地に小黒川スマートICが近い」として

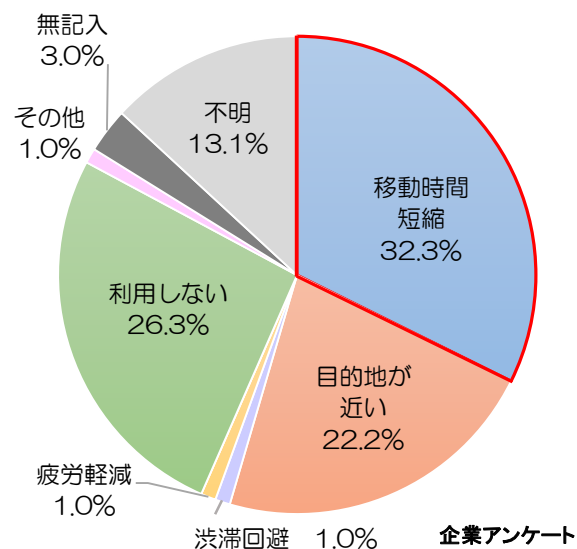
Q:小黒川スマートIC開通による時間短縮は？



個人アンケート

67.6%が10分以上短縮と回答している

Q:企業活動での利用理由は？



企業アンケート

企業の主な利用理由は「移動時間の短縮」が最多

※各グラフの「不明」は単一回答箇所に複数回答してあるもの